

# 仕様

形名		W42M-PD1	
パネル	表示寸法	約42インチ (水平922mm, 垂直522mm, 対角1,059mm)	
	表示ドット数	水平1024×垂直1024	
入力信号	入力端子	RGB入力	VIDEO入力
		RGB入力端子(D-SUB15ピン) RGB音声入力端子(右)(左)	ビデオ1映像入力端子 ビデオ1音声入力端子(右)(左) ビデオ1S映像入力端子 ビデオ2映像入力端子(Y)(P <sub>B</sub> /C <sub>B</sub> )(P <sub>R</sub> /C <sub>R</sub> ) ビデオ2音声入力端子(右)(左) ビデオ3映像入力端子(D4映像) ビデオ3音声入力端子(右)(左)
	映像信号	0.7V/1.0Vp, アナログRGB (水平: 24k~80k, 垂直: 50Hz~75Hz)	ビデオ1入力 NTSC ビデオ2/ビデオ3入力 480/60i, 480/60p, 720/60p, 1080/60i, 1035/60i (ハイビジョン)
	同期信号	H/Vセパレート, TTLレベル	-
		H/Vコンポジット, TTLレベル	-
	シンクオングリーン, 0.3Vp-p	-	
推奨信号	14モード <b>34</b>	無し	
音声出力端子	8W+8W (EIAJ)		
電源	AC100V, 50Hz/60Hz 消費電力450W		
外形寸法	幅1,041×高さ648×奥行89(mm) (スタンドなど含まず)		
質量	34kg (スタンドなど含まず)		
環境条件	温度	使用時: 5℃~35℃ 保存時: 0℃~40℃	
	湿度	使用時: 20%~80% 保存時: 20%~90% (結露なきこと)	

- 最適画質状態になるまでの所要時間30分以上です。
- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。  
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。  
「高調波ガイドライン」適合品とは、通産省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。

株式会社日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12  
電話 (03) 3502-2111

QR43874

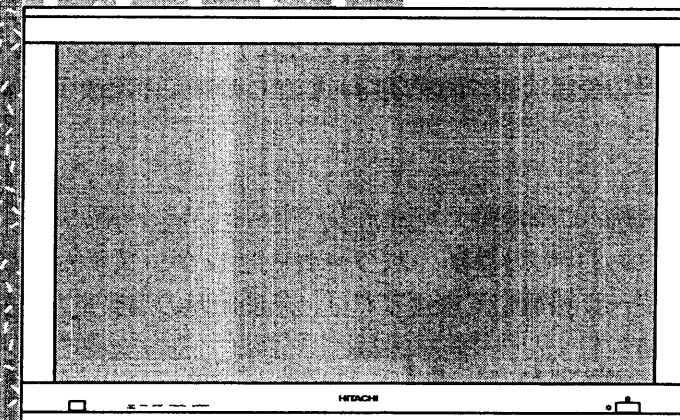
Printed in Japan (J)

# HITACHI

日立プラズマハイビジョンモニター

## W42M-PD1

取扱説明書



(スタンドはオプションです。)

このたびは日立プラズマハイビジョンモニターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

**最初に** 「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いはこの「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。  
お読みになった後は、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保管してください。

# 特 長

## 大画面・高精細プラズマディスプレイパネル採用

表示画素1024×1024の42型プラズマディスプレイパネルを採用し、高精細かつ大画面で薄型のフラット・ディスプレイを実現します。地磁気や周囲の電源ラインなどによる磁気の影響がないため、色ズレ・画面歪みのない高品質な表示をします。

## D4端子などマルチメディア入力機能

パソコン入力用としてミニDsub端子を、ビデオ入力用としてコンポジット/S端子および将来のデジタル機器を高画質入力できるD4端子/コンポーネント端子を装備し、パソコンから映像機器まで複数の機器を同時接続できます。

## マルチスキャンコンバータおよびフレックス・コントロールLSI採用

ビデオ信号(15kHz)から、コンピューターのアナログ映像信号まで広範囲な信号に対応します。さらに、ビデオ入力時は、専用LSIで信号処理を行うことで、より高画質な映像をご提供します。

## 簡単リモコンとEasyMenu (イージーメニュー)

付属のリモコンにより簡単に画面調節ができます。さらに、オン・スクリーン・ディスプレイ・システム「EasyMenu」が信号の受信状態や調節内容をわかりやすく画面表示します。

## パワーセーブ対応

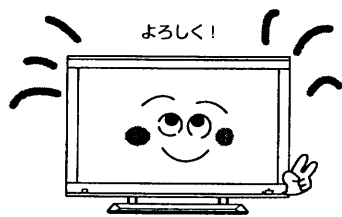
入力信号が無いときは、自動的に消費電力を抑えるパワーセービングシステムが働きます。パソコン入力時は、VESA DPMS準拠のパワーセービングシステムを備えています。VESA DPMS対応のコンピューターに接続して使用すれば、未使用時の消費電力を抑えることができます。

## 高音質スピーカー出力端子装備

パソコン入力用1系統、ビデオ入力用3系統の音声入力端子を装備し、高出力・高音声ステレオ出力端子を備えています。

## 主要規格クリア

電気用品取締法(S-JQA)適合、国内高周波抑制対策ガイドラインにも適合した高品質ディスプレイです。



## 本書についてのご注意

- 本書の内容は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容は、万全を期して作成していますが、万一お気づきの点、ご不明な点がございましたらお買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
- 運用に際しましては、ハードウェアやソフトウェアの仕様、制限などの前提条件を十分にご理解いただいたうえでご利用ください。誤って運用した結果につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容の一部あるいは全部を、無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。



# も く じ

特 長	2
本書の見方	4
絵表示について	4
書式の概要	4
使用上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)	5
安全上のご注意	5
お守りください	10
設置方法	11
標準付属品	11
据え付け	11
転倒防止について	11
各部の名称	12
据え付け・接続	14
リモコンの取り扱い	16
操作方法	17
電源ON/OFF	17
入力切替	18
音量調節	18
コントラスト調節	19
音声ミュート (消音)	19
入力信号画面表示	19
オンスクリーンディスプレイシステム「EasyMenu」	20
DISPLAY AREA選択時の表示概略図 (RGB入力)	24
DISPLAY SIZE選択時の表示概略 (VIDEO入力)	25
オートワイドの効果	25
その他の機能	26
リセット (登録内容の初期化)	26
信号チェック	26
パワーセービングシステム	27
音声専用モード	27
自動ストア	28
故障かな…と思ったら	29
故障とまちがえやすい現象	29
正常に表示しない場合の対処方法	31
パソコン入力信号仕様	33
信号入力	33
推奨信号一覧	34
保証とアフターサービス	35
仕 様	裏表紙





# 本書の見方

## 絵表示について

- 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

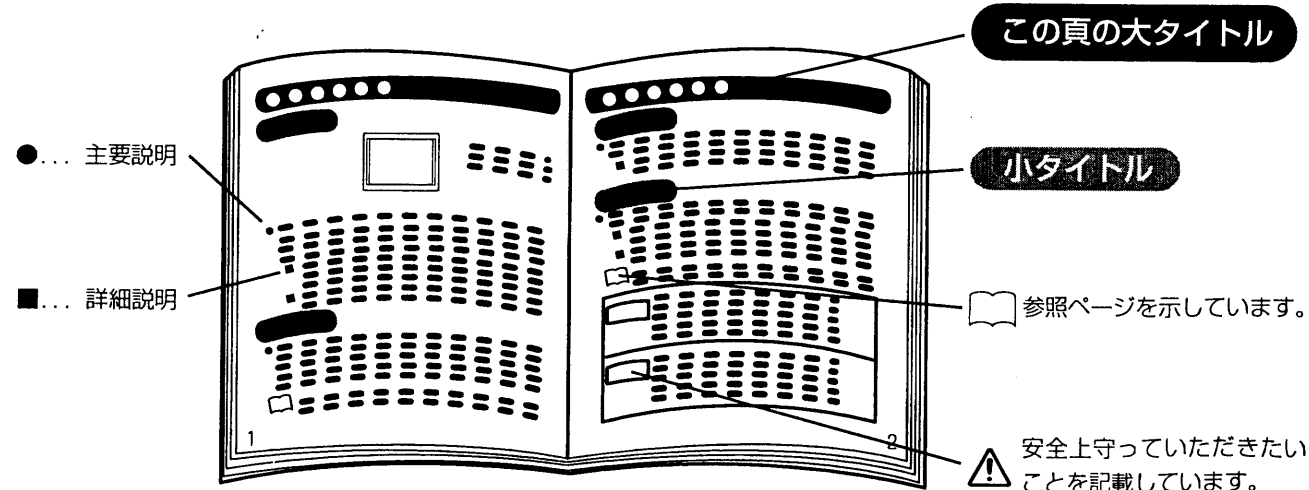
	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味

-  気をつけなければならない。「注意」を示します。
-  感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。
-  してはいけない。「禁止」を示します。
-  必ず行う。「強制」を示します。

## 書式の概要

- 本書では、タイトルの表示形式や文頭記号を、おおむね下図のように統一しています。

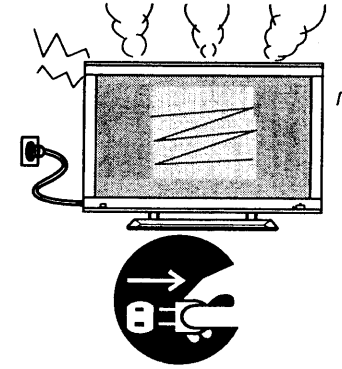


# 使用上のご注意 安全に正しくお使いいただくために

## 安全上のご注意

### 警告

#### ■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

- 煙が出ている、へんな臭いや音がある
- 画が乱れる・映らない、音がでない
- 本機の内部に異物(水、金属など)が入ったなど

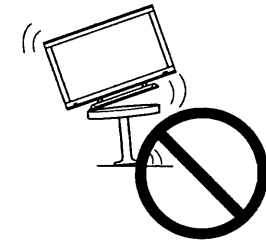
異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

## 設置をするとき

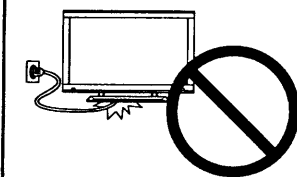
### 警告

#### ■不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

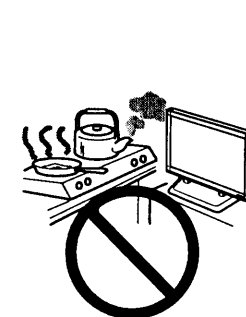
#### ■電源コードが本機の下敷にならないようにしてください



コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

### 注意

#### ■湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かないでください



火災・感電の原因となります。

- 調理台や加湿器のそばなど

#### ■電源プラグなどの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させないでください



火災・感電・けがの原因となることがあります。



# 使用上のご注意 (つづき)

## 設置をするとき (つづき)

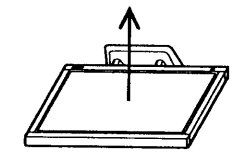
### ⚠ 注意

#### ■ 通風孔をふさがないでください

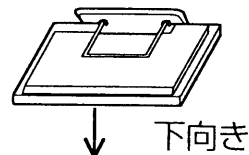


火災の原因となることがあります。通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。特につぎのような使い方はしないでください。

- 本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。



上向き



下向き

#### ■ 持ち運ぶときは衝撃を与えたり、落とさないでください



火災・感電・けがの原因となることがあります。

- 持ち運びは必ず2人以上で行ってください。

#### ■ 転倒防止の処置を行ってください



倒れると、けがの原因となることがあります。

#### ■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください



本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

#### ■ キャスターのついた台に

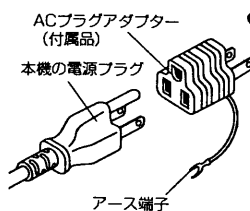


乗せないでください  
本機が動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

#### ■ ACプラグアダプターご使用上の注意



- 本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の故障・漏電時の感電防止および、電波障害防止のため、機器のアースは確実に接地してご使用ください。
- コンセントが2芯専用の場合は、アース工事が必要です。専門業者にご依頼ください。その上で付属のACプラグアダプターを使用し、アース端子を接続してください。また、コンセントが3芯用の場合は、付属のACプラグアダプターを外した状態で、使用してください。



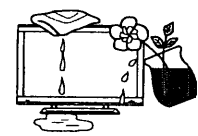
アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行ってください。

# 使用上のご注意 (つづき)

## 使用するとき

### ⚠ 警告

#### ■ 本機の近くに花びんなどを置かないでください



本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 本機の上や周辺に花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かないでください。



水ぬれ禁止

#### ■ 本機に水を入れたり、ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はさけてください。

#### ■ 風呂場やシャワー室で使用しないでください



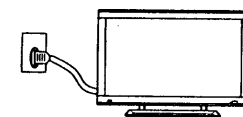
風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

#### ■ 指定の電源電圧でご使用ください



本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。



#### ■ 裏ぶたやカバーをはずしたり、改造しないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

#### ■ 電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除いてください



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

#### ■ 電源コードを傷つけないでください



火災・感電の原因となります。

傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。

- 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしないでください。

#### ■ 異物を入れないでください



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。特にお子様にはご注意ください。



# 使用上のご注意 (つづき)

## 使用するとき (つづき)

### 警告

■ 雷が鳴り出したら、本機には  
触れないでください



接触禁止

感電の原因となります。

■ 衝撃を与えないでください



万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### 注意

■ 電源プラグは根元まで確実に  
差し込んでください



差し込みが不完全ですと発熱したりして火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。

■ 本機の上に重いものを  
置かないでください



倒れたり、落下してけがの原因となります。

■ 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まないでください



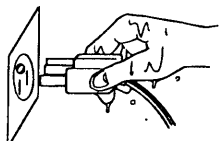
発熱して火災の原因となります。ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ 本機に乗ったり、ぶら下がったり  
しないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特に小さなお子様にはご注意ください。

■ ぬれた手で電源プラグを  
抜き差ししないでください

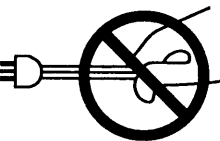


感電の原因となります。



ぬれ手禁止

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください



電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となります。

# 使用上のご注意 (つづき)

## 使用するとき (つづき)

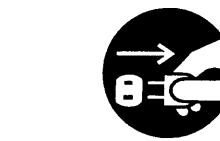
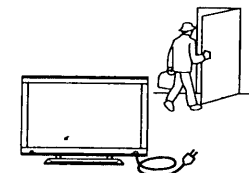
### 注意

■ 間違った電池の使い方を  
しないでください



電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。特に、次の使い方はしないでください。  
●新しい電池と古い電池を混ぜて使用  
●本機の極性表示(プラスとマイナスの向き)とは逆向きでの電池の使用

■ 長期間ご使用にならないときは  
必ず電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

## お手入れするとき

### 注意

■ お手入れの際は、安全のため  
電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

■ 年に一度は内部の掃除を  
販売店にご依頼ください



本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

# 使用上のご注意 (つづき)

## お守りください

### ■ 高温になるところに 置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

### ■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

### ■ 長時間連続して画面を見ていると

目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

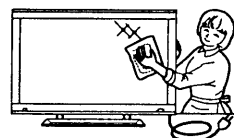
### ■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣り近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。

### ■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

### ■ パネルのお手入れについて



本機のパネル表面は、柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。

硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネルの表面が傷付きますのでご注意ください。

指紋など油脂類の汚れがひどい

場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、絞って拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

### ■ キャビネットのお手入れについて

● キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

● キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。

- ・ アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

### ■ 搬送についてのご注意

● 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

この製品は、電気用品取締法、技術基準第二項、附表2-2に基づくクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

## お知らせ

### ■ ご覧になる位置は

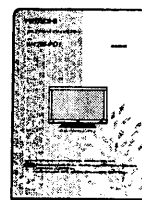
画面のたての長さの5~7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすく疲れにくくなります。

# 設置方法

## 標準付属品

● この製品にはハイビジョンモニター本体の他に、以下のものが付属しておりますので、ご確認ください。

- 万一、欠品がございましたらお買い上げの販売店へご連絡ください。



取扱説明書  
(本書)



リモコン  
送信機



単3形乾電池  
x2



電源コード



電源プラグ  
アダプター

- 取扱説明書(本書)および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できる場所へ大切に保管してください。
- 梱包材は、将来の移動や輸送を考慮の上、保管してください。

## 据え付け

● 本機の取り付けには性能および安全性を維持するために、必ず別売りの専用卓上スタンド(TB-PS02)または専用壁かけユニット(TB-PK02)に取り付けてお使いください。

### ⚠ 警告

■ 本機の取り付けには専用の取り付けユニットをご使用ください。取り付け強度が不足の部材を使用すると、転倒したり落下して火災・感電・けがの原因となります。

### ⚠ 注意

■ 壁かけユニットの取り付けについては、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。

■ 本機を卓上スタンドに取り付ける場合は、販売店にご相談ください。

■ 本機内部の温度上昇を防止するため、背面の通気孔がふさがらないよう壁などから10cm以上空間距離を保ってください。

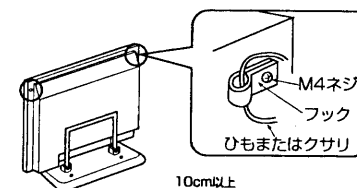
## 転倒防止について…別売り卓上スタンドご使用時

### ⚠ 注意

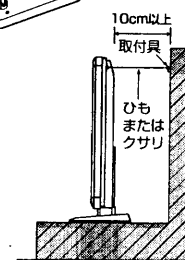
■ 本機は安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

## 壁または柱などに固定する場合

① 図のようにセット後面上部の両端に付いているネジ穴に卓上スタンド付属品のフックをM4ネジで固定してください。(左右2ヶ所)

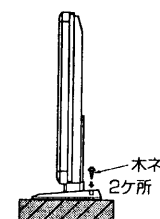


② ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱などをお選びになり、しっかりと固定してください。



## 卓上などに固定する場合

① 図のようにスタンド後部の固定用ネジ穴に木ネジなどで固定し、ご利用ください。(左右2ヶ所)

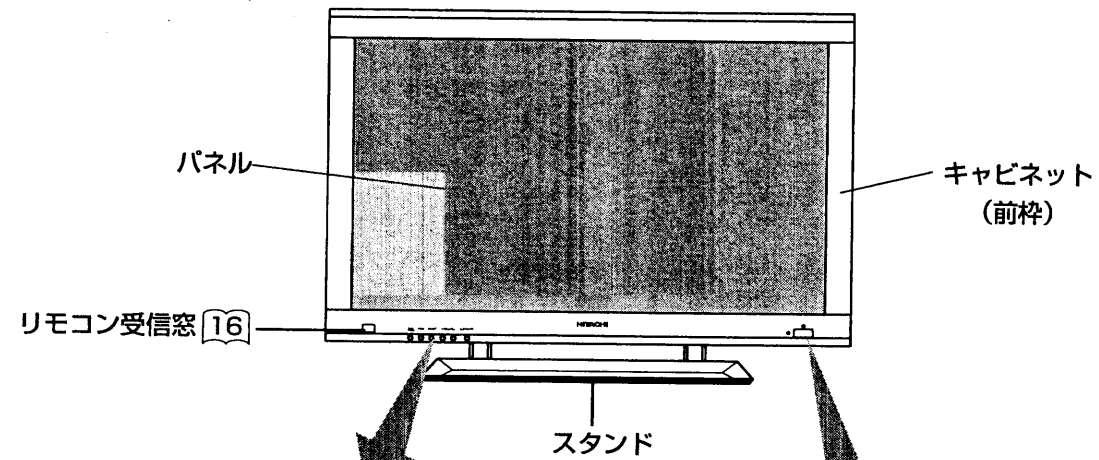


② 木ネジなどについては市販品をご利用いただき、しっかりと固定してください。

# 設置方法 (つづき)

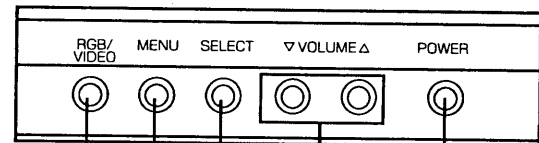
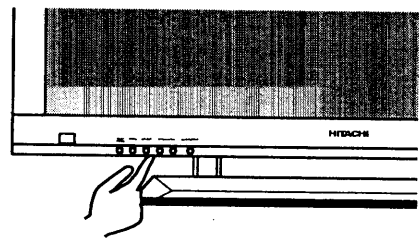
## 各部の名称

前面



### コントロールパネル

■底面に調整ボタンがあります。



電源ボタン 17

VOLUMEボタン 18

SELECTボタン 20

MENUボタン 20

RGB/VIDEOボタン 18

STANDBY (RED) ON

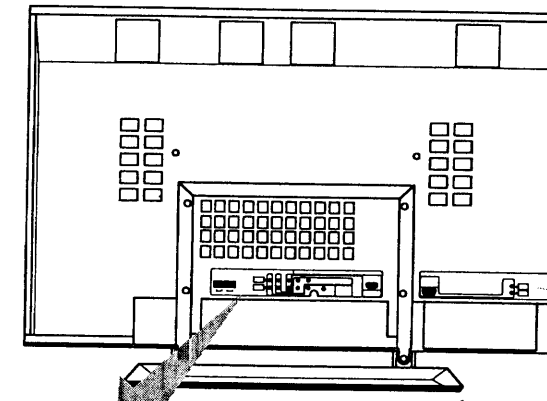
主電源

表示ランプ 17

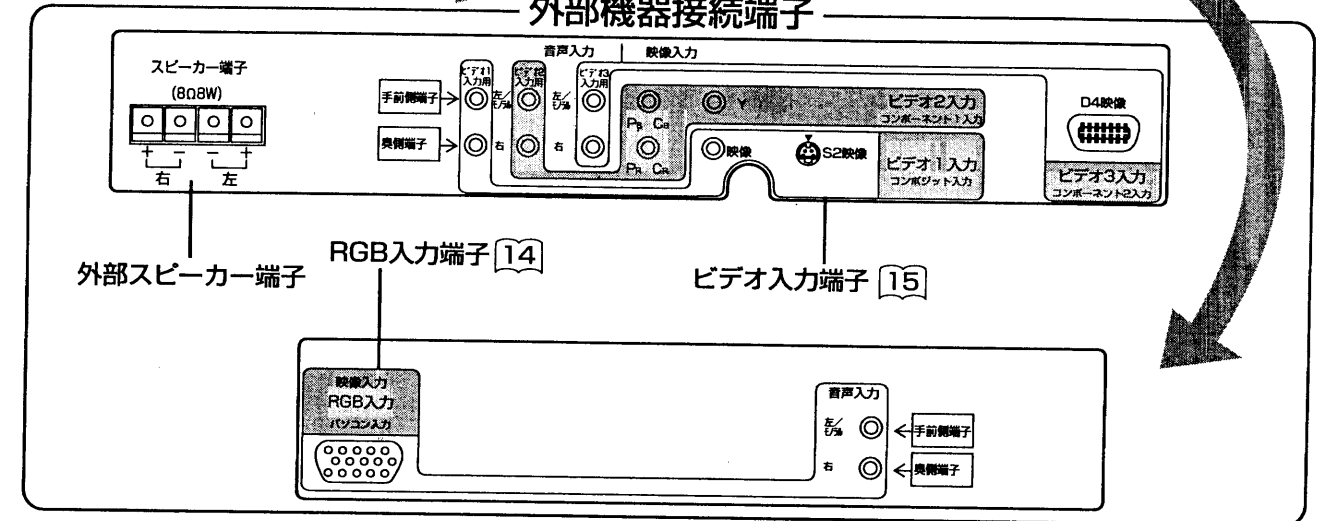
主電源スイッチ 17

# 設置方法 (つづき)

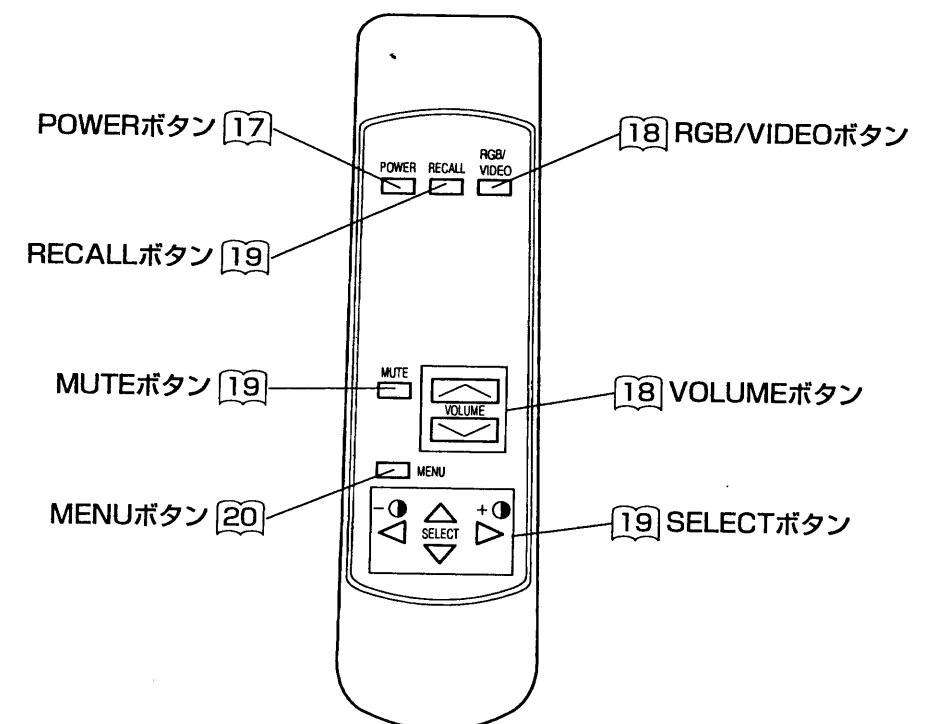
後面



### 外部機器接続端子



リモコン

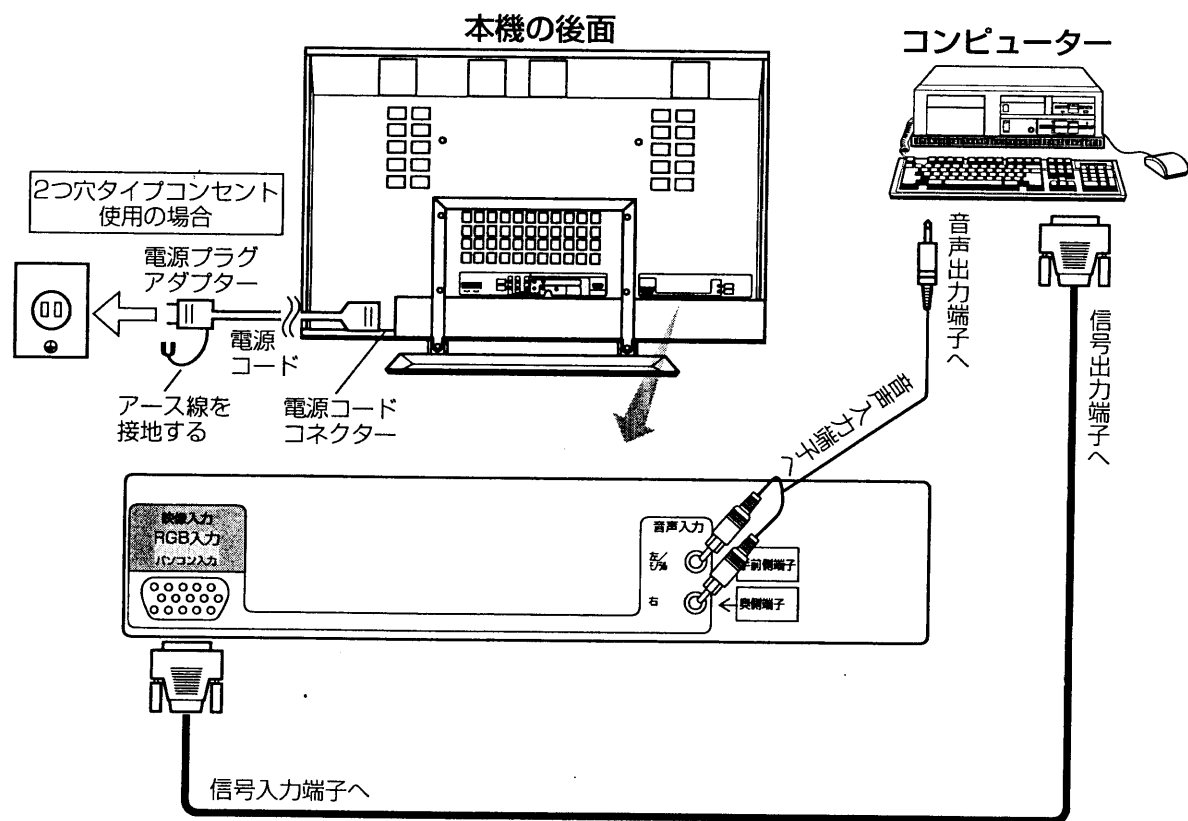


# 設置方法 (つづき)

## 据え付け・接続

### コンピューターとの接続方法

- 「使用上のご注意」(5)～(10)をよくお読みになり、安全には十分ご注意の上、以下に従って作業を行ってください。
  - ① ご使用になるコンピューターのディスプレイ信号が、本機の仕様に合うことを確認してください。
    - 本機の仕様については「パソコン入力信号仕様」(33)、(34)、裏表紙をご参照ください。
  - ② 適切な設置場所を選び、安定となる場所に設置してください。
    - 使用するコンセント(AC100V電源)にすぐ手が届くように設置してください。
  - ③ 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
    - 本機の電源スイッチは出荷状態でOFFです。
  - ④ コンピューターの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
  - ⑤ 本機後面の信号入力端子(RGB入力)と、コンピューターのディスプレイ信号出力端子を、別売りの信号ケーブル(TP-RGBVG)で接続してください。
    - 別売りの信号ケーブルが、ご使用のコンピューターと合わない場合は、(33)をご覧ください。販売店へご相談ください。
  - ⑥ 付属の電源コードのコネクター側を本機後面の電源コードコネクターに、プラグ側を電源電圧100Vのコンセントに接続してください。
    - 電源プラグアダプターをご使用の場合は、感電防止および電波障害防止のため、必ずアース線を接地してください。(アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行ってください。)
  - ⑦ まず本機の電源スイッチを、次にコンピューターの電源スイッチをONにして、本機の画面に表示が現れるのを確認してください。
    - 本機の電源ONおよび画像調節の方法は「操作方法」(17)～(35)をご覧ください。

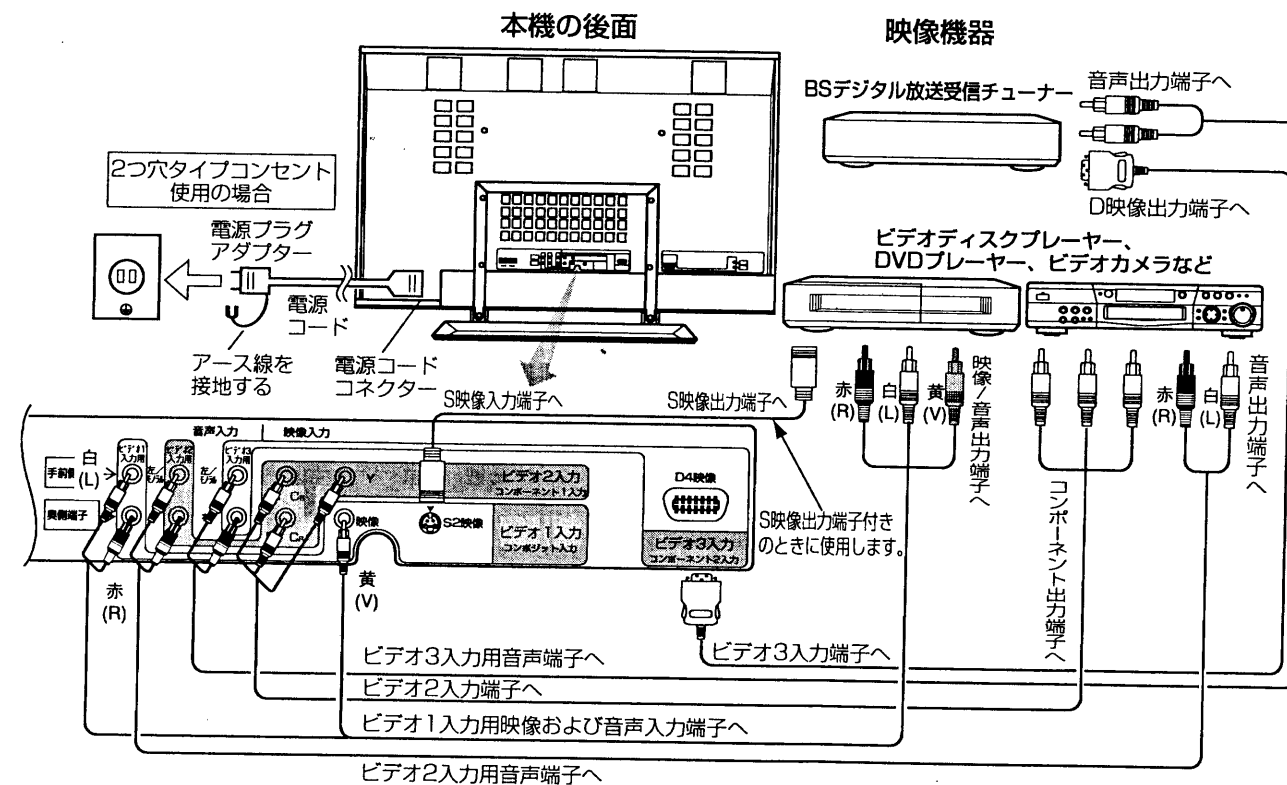


# 設置方法 (つづき)

## ビデオ映像機器との接続方法

(ビデオディスクプレーヤー、DVDプレーヤー、ビデオカメラなど)

- 「使用上のご注意」(5)～(10)をよくお読みになり、安全には十分ご注意の上、以下に従って作業を行ってください。
  - ① 適切な設置場所を選び、安定となる場所に設置してください。
    - 使用するコンセント(AC100V電源)にすぐ手が届くように設置してください。
  - ② 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
    - 本機の電源スイッチは出荷状態でOFFです。
  - ③ 映像機器の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
  - ④ 本機後面の信号入力端子と、映像機器の信号出力端子を、映像機器に付属または市販のケーブル、コネクタ類で接続してください。
  - ⑤ 付属の電源コードのコネクター側を本機後面の電源コードコネクターに、プラグ側を電源電圧100Vのコンセントに接続してください。
    - 電源プラグアダプターをご使用の場合は、感電防止および電波障害防止のため、必ずアース線を接地してください。(アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行ってください。)
  - ⑥ まず本機の電源スイッチを、次に映像機器の電源スイッチをONにして、本機の画面に表示が現れるのを確認してください。
    - 本機の電源ONおよび画像調節の方法は「操作方法」(17)～(25)をご覧ください。



- S映像出力端子付きの映像機器をご使用の際は、S映像ケーブルにより接続されることをおすすめします。より良い画質で映像をお楽しみいただけます。(本機はS映像入力端子と映像入力端子が両方接続されている場合は、S映像入力が優先されます。)
- ビデオ3入力(コンポーネント2入力)D4映像は、将来実用化予定のBSデジタル放送受信チューナーなどのD映像信号を接続できます。本機はD映像信号の525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、720p(750p)に対応しています。

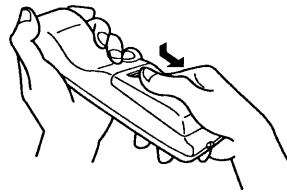


# 設置方法 (つづき)

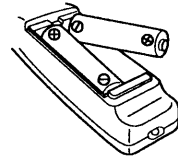
## リモコンの取り扱い

### 乾電池の入れかた

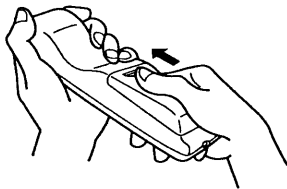
- ① 電池ぶたをはずしてください。  
■電池ぶたを押しながら、矢印の方向にずらします。



- ② 乾電池を入れてください。  
■付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

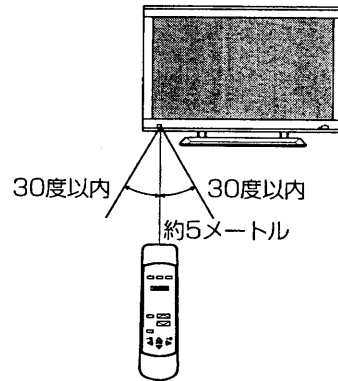


- ③ 電池ぶたを閉めてください。  
■電池ぶたを矢印の方向に押し戻します。



### リモコンの取り扱い

- リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。



<b>⚠ 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> <li>■電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえすと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>
<b>お守りください</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。</li> <li>■リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。</li> <li>■長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。</li> <li>■リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。</li> <li>■リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないように本機の向きを変えてください。</li> </ul>

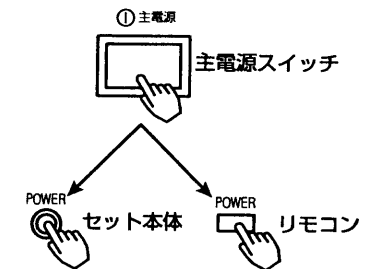
# 操作方法

## 電源ON/OFF

- セットの電源をONにするには、本体の主電源スイッチ(①)をONにしたあと、電源ボタンかリモコンのPOWERボタンを押してください。
- セットの電源をOFFにするには、本体の電源ボタンかリモコンのPOWERボタンを押したあとに、本体の主電源スイッチ(①)をOFFにしてください。
  - 通常のご使用時は、主電源スイッチ(①)をONにした状態で、電源ボタンかリモコンのPOWERボタンでセットの電源をON/OFFすることができます。
  - 電源ONのときは表示ランプが点灯します。

表示ランプ	電源の状態	操 作
無点灯	OFF	主電源スイッチ(①)OFF時
赤点灯	OFF ※ (スタンバイ)	主電源スイッチ(①)ON、リモコンのPOWERボタン又は前枠底面のコントロールパネルの電源ボタンOFF時
緑点灯または緑点滅	ON	主電源スイッチ(①)ON、リモコンのPOWERボタン又は前枠底面のコントロールパネルの電源ボタンON時

表示ランプが緑点滅したり画面に「POWER SAVE」、または「OUT OF FREQUENCY」のメッセージが表示された場合は、「故障とまちがえやすい現象」[29](#)をご参照ください。  
※ここでの「スタンバイ」は「パワーセービングシステム」[27](#)の「スタンバイ」とは異なります。

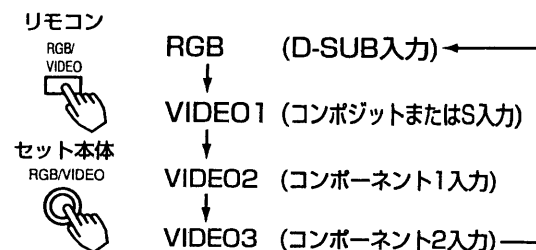


<b>お守りください</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電源の頻繁なON/OFFのくり返しはおやめください。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>●故障の原因となることがあります。</li> </ul> </li> <li>■長時間ご使用にならないときは、主電源スイッチ(①)をOFFにしてください。</li> <li>■セットが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。セットから離れるときは、本体の主電源スイッチを切っておいてください。</li> </ul>
----------------	---

# 操作方法 (つづき)

## 入力切換

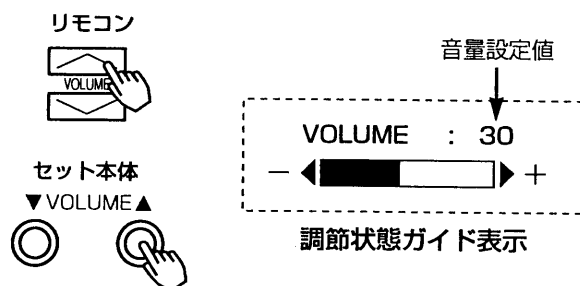
- リモコンまたは本体のRGB/VIDEOボタンを押すと、RGB→VIDEO1→VIDEO2→VIDEO3→RGBの順に入力が切り換わります。



## 音量調節

- オンスクリーンディスプレイシステム「EasyMenu」<sup>[20]</sup>を表示していない状態で、リモコンのVOLUMEボタンの 、 (または本体のVOLUMEボタン▲、▼ボタン)を押すと、音量を調節することができます。

- ボタンを押すと、調節状態をガイド表示します。
  - ガイド表示しているときに (または▲)ボタンを押すと音量が大きくなります。
  - ガイド表示しているときに (または▼)ボタンを押すと音量が小さくなります。
- オンスクリーンディスプレイシステム「EasyMenu」で音量を調節することもできます。<sup>[20]</sup>
- 5秒間キー入力操作がないときは、音量調節モードを終了します。(調節状態ガイド表示が自動的に消えます。)

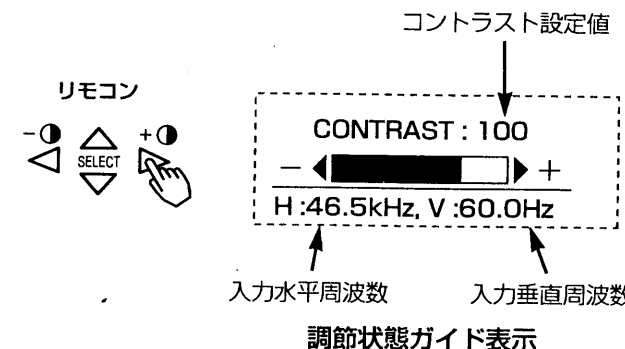


# 操作方法 (つづき)

## コントラスト調節

- オンスクリーンディスプレイシステム「EasyMenu」<sup>[20]</sup>を表示していない状態で、リモコンのSELECTボタン(◀または▶キー)を押すと、コントラストを調節することができます。

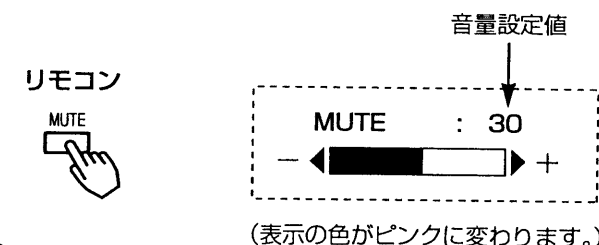
- ボタンを押すと、コントラストの調節状態と入力信号の水平周波数(H)、垂直周波数(V)をガイド表示します。
- ガイド表示しているときに◀キーを押すと明暗の差が小さくなります。
- ガイド表示しているときに▶キーを押すと明暗の差が大きくなります。
- オンスクリーンディスプレイシステム「EasyMenu」でコントラストを調節することもできます。<sup>[20]</sup>
- 5秒間キー入力操作がないときは、コントラスト調節モードを終了します。(調節状態ガイド表示が自動的に消えます。)



## 音声ミュート(消音)

- リモコンのMUTEボタンを押すと、音を一時的に消すことができます。

- ボタンを押すと、「MUTE」表示(ピンク色)と音量設定状態をガイド表示します。
  - 消音状態のときに ボタンを押すと音量の設定が小さくなります。
  - 消音状態のときに ボタンを押すと消音状態を解除します。
- オンスクリーンディスプレイシステム「EasyMenu」で消音状態のときの音量設定を調節することができます。<sup>[20]</sup>



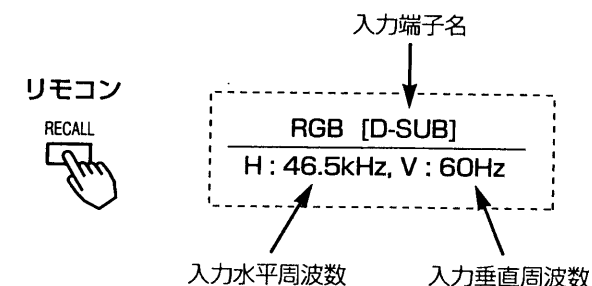
- もう一度リモコンのMUTEボタンを押すと、消音状態が解除されVOLUME表示(薄い青色)にかわり、音が出せます。

- MUTEのときは、ガイド表示が5秒間続き、その後消えます。

## 入力信号画面表示

- リモコンのRECALLボタンを押すと、入力信号状態を画面に表示することができます。
- もう一度リモコンのRECALLボタンを押すと、画面表示を終了します。

- 5秒間キー入力操作がないときは、画面表示を終了します。
- 本表示はMAIN MENUのFUNCTIONを選択し、AUTO FREQ.をON/OFFすることにより、表示機能をON/OFFすることができます。<sup>[23]</sup>

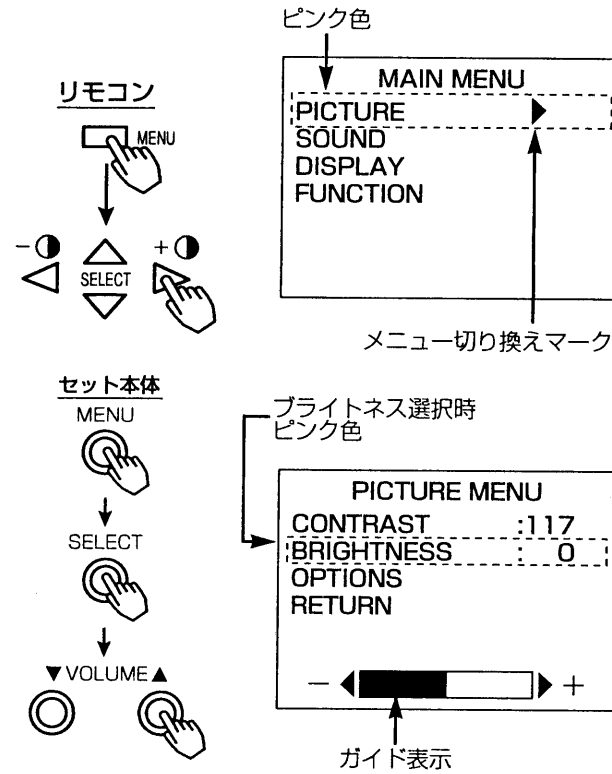


# 操作方法 (つづき)

## オンスクリーンディスプレイシステム「EasyMenu」

●MENUボタンを押すと、調節用メニュー画面が表示され、SELECTボタン(リモコンは△、▽、◀、▶キー、セット本体はSELECTキーおよびVOLUMEボタン▼、▲キー)を使って複数の調節や設定することができます。

- 本体のSELECTボタン(リモコンは△または▽キー)を押すと、文字のピンク色が移動して項目を選択することができます。
- 本体のVOLUMEボタン▲、▼キー(リモコンは◀または▶キー)を押すと、選択した項目の調節や設定、メニューの切り換えができます。
- 選択項目の右側に「:」の表示があるときは、調節や設定を変更することができます。
- 選択項目の右側に▶の表示があるときは、リモコンの場合はSELECTボタンの▶キー、セット本体の場合はSELECTボタン、VOLUMEボタン▲キーを押すとメニューの切り換えができます。
- 選択項目が「RETURN」のときに、リモコンの場合はSELECTボタンの◀キー、セット本体の場合はSELECTボタン、VOLUMEボタン▼キーを押すと元のメニュー画面に戻ります。
- 項目の調節や設定内容については 21 ~ 23 をご覧ください。



●もう一度MENUボタンを押すと、調節用メニュー画面の表示が解除されます。

- 10秒間キー入力操作がないときは、自動的に調節用メニュー画面の表示が解除されます。

知っておくと便利	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本機にコンピューター信号を入力して全体画像を把握する時は、VESA1024×768 75HzでDISPLAY AREAをFULLに設定し、SCANをINTにして使用することをおすすめします。22</li> <li>■ コンピューター信号を入力した場合、フリッカを感じることがあります。垂直周波数が75Hz未満の場合は、周波数を高くすることをおすすめします(上限75Hz)。</li> </ul>
お知らせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 同一画像を長時間連続して表示すると、残像(焼付き現象)を生じることがあります。これを軽減するため、表示内容を適当な間隔で切替えることをおすすめします。</li> <li>■ コンピューターなどで作成した特殊な画像(画面の大部分がチェッカーフラグのようなパターンなど)を表示した場合は、コントラストまたはブライトにより色相が変わることがあります。</li> </ul>

# 操作方法 (つづき)

## 調節項目一覧

メニュー名	選択表示文字	調節項目	◀▶	◀▶	設定のポイント
PICTURE (RGB 選択時)	CONTRAST	コントラスト (明暗の差)	明暗の差が小さくなる。	明暗の差が大きくなる。	周囲の明るさに合わせて見やすく。
	BRIGHTNESS	ブライトネス (明るさ)	黒が沈み、全体が暗くなる。	黒が浮いて、全体が明るくなる。	黒側がつぶれないように。
OPTIONS	COLOR SELECT	色温度	WARM ↓ NORM ↓ COOL	WARM ↑ NORM ↑ COOL	通常は「NORM」にします。
	GAMMA	ガンマ補正	1.0 ↑ 2.2 ↑ 2.8	1.0 ↓ 2.2 ↓ 2.8	通常は「2.2」にします。
	VIDEO LEVEL	入力信号レベル	0.7Vに設定。	1.0Vに設定。	通常は「0.7V」でご使用ください。白つぶれが激しいときに「1.0V」にします。
PICTURE (VIDEO 選択時)	CONTRAST	コントラスト (明暗の差)	明暗の差が小さくなる。	明暗の差が大きくなる。	周囲の明るさに合わせて見やすく。
	BRIGHTNESS	ブライトネス (明るさ)	黒が沈み、全体が暗くなる。	黒が浮いて、全体が明るくなる。	黒髪の濃さに合わせて見やすく。
	COLOR	カラー (色の濃さ)	色が薄くなる。	色が濃くなる。	お好みの濃さに。やや薄めの方が自然です。
	TINT	ティント (色あい)	赤が強く、緑が弱くなる。	緑が強く、赤が弱くなる。	肌色がきれいに見えるように。
	SHARPNESS	シャープネス (画質)	画面がソフトになる。	画面がシャープになる。	ふだんは中央で、柔らかい感じにしたいときには一側へ。
OPTIONS	COLOR SELECT	色温度	WARM ↓ NORM ↓ COOL	WARM ↑ NORM ↑ COOL	通常は「NORM」にします。
	VIDEO LEVEL	入力信号レベル	NORMAL ↑ +10% ↑ +20%	NORMAL ↓ +10% ↓ +20%	通常は「NORMAL」でご使用ください。白つぶれが激しいときに「+10%」または「+20%」にします。
SOUND	VOLUME	音量	音が小さくなる。	音が大きくなる。	お好みの大きさにします。18
	BALANCE	音声バランス	左側の音が強調される。	右側の音が強調される。	
	TREBLE	高音	高音が抑えられる。	高音が強調される。	お好みに合わせて調節します。
	BASS	低音	低音が抑えられる。	低音が強調される。	
	MUTE LEVEL	ミュート音量	MUTEボタンを押したときの音量が小さくなる。最小は0。	MUTEボタンを押したときの音量が大きくなる。最大はミュート前の音量。	MUTEボタンを押したときの音量を設定します。19

# 操作方法 (つづき)

## 調節項目一覧 (つづき)

メニュー名	選択表示文字	調節項目			設定のポイント
M A I N	DISPLAY AREA	VGA	NORMAL ↔ FULL		<p>「FULL」は画像を画面一杯に合わせて出します。全体画像を把握するときに便利です。</p> <p>表示の概略図を <b>24</b> に示します。</p>
		SVGA XGA SXGA(60)	FULL ↑ UP/LF ↑ UP/RI ↑ DW/LF ↑ DW/RI ↑ CENTER	FULL ↓ UP/LF ↓ UP/RI ↓ DW/LF ↓ DW/RI ↓ CENTER	
		SXGA(75)	FULL		
		W-PCボード	FULL ↔ SQUARE		
	H.POSITION	水平位置	左へ移動する。 	右へ移動する。 	左側の表示位置を合わせます。
	V.POSITION	垂直位置	下へ移動する。 	上へ移動する。 	上下の表示位置を合わせます。
	CLOCK	ドットクロック周波数	ドットクロック周波数が低くなる。 (右端が縮む。 	ドットクロック周波数が高くなる。 (右端が伸びる。 	右側の表示位置を合わせます。 <b>31</b>
	PHASE	ドットクロック位相	ドットクロック位相を遅らせる。 (左へ少しずれる。 	ドットクロック位相を進める。 (右へ少しずれる。 	最も文字がくっきりと見えるように合えます。 <b>32</b>
	SCAN (※1)	走査方式	INT ↔ P.SCAN		SVGA以上の受信信号でFULL表示したときは、INTにすると文字が見やすくなります。
	DISPLAY INIT.	INITIALIZE	ディスプレイの初期化	DISPLAYメニューの調節値を全クリアし、DISPLAYメニューに戻る。	DISPLAYメニューに戻る。クリアは実行しない。 <b>26</b>
DISPLAY (VIDEO) 選択時	DISPLAY SIZE (※2)	表示サイズ	4:3 → AUTO ↑ SMOOTH ↓ ↑ MOVIE1 ↓ ↑ MOVIE2	4:3 → AUTO ↓ SMOOTH ↑ ↓ MOVIE1 ↑ ↓ MOVIE2	画像ソフトのアスペクト(画面の横と縦の比)に合わせて選択します。通常はAUTO(オートワイド)でご使用すると便利です。 <b>25</b>
	V.POS. (※3)	垂直位置			字幕などが欠けるときは垂直位置を調節してください。
	V.SIZE (※3)	垂直サイズ			上下の黒帯(ブランク)が見えなくなる程度に調節する。
DISPLAY INIT.	INITIALIZE	ディスプレイの初期化	DISPLAYメニューの調節値を全クリアし、DISPLAYメニューに戻る。	DISPLAYメニューに戻る。クリアは実行しない。 <b>26</b>	ユーザ信号プリセットデータをクリアします。 <b>26</b>

# 操作方法 (つづき)

## 調節項目一覧 (つづき)

メニュー名	選択表示文字	調節項目			設定のポイント	
M A I N	FUNCTION (RGB 選択時)	AUTO FREQ.	入力状態自動表示	OFFに設定。 新しい信号を受け付けたときに周波数表示なし。	ONに設定。 新しい信号を受け付けたときに周波数表示する。	信号切り換えのときの周波数表示がわずらわしいときは「OFF」に設定します。
		INTERPOLATION	拡大処理	DOUBLEに設定。	LINEARに設定。	文字や画像をくっきりさせたいときに「DOUBLE」にします。滑らかにしたいときは「LINEAR」にします。
	FUNCTION (VIDEO) 選択時)	AUTO FREQ.	入力状態自動表示	OFFに設定。 新しい信号を受け付けたときに周波数表示なし。	ONに設定。 新しい信号を受け付けたときに周波数表示する。	信号切り換えのときの周波数表示がわずらわしいときは「OFF」に設定します。
		LINE INTP.	ライン補正	OFFに設定。	ONに設定。	立体ビデオディスクをご使用の場合は「ON」にします。通常は「OFF」でご使用ください。
		3D COMB	3次元Y/C分離	OFFに設定。	ONに設定。	ビデオなどの映像が不自然に見えるとき「OFF」にします。通常は「ON」でご使用ください。
	COMPONENT	COMPONENT SD1	480i 信号色マトリクス	Cb/Crに設定。 Y/CB/CR信号に適した設定にする。	Pb/Prに設定。 Y/PB/PR信号に適した設定にする。	入力する信号の色マトリクス方式に合わせて設定します。
		COMPONENT SD2	欧州SDTV 信号色マトリクス			
		COMPONENT HD1	480P 信号色マトリクス			
		COMPONENT HD2	720P 信号色マトリクス			
	COMPONENT HD3	1080i 信号色マトリクス				
AUTO WIDE SEL.	オートワイド時の4:3映像の表示選択	4:3表示に設定	スムーズ表示に設定			

●画面モードはビデオ、コンポーネントビデオごとに記憶しています。

(※1) DISPLAY AREAでFULLを選んだ時のみ表示します。

(※2) 1.コンポジット映像/S2映像信号(ビデオ1入力)およびコンポーネント(SD1 480i)信号は全モード対応しています。

2.ビデオ1 S2映像入力端子にS1またはS2映像を入力するとS1映像は「FULL」になり、S2映像は「MOVIE1」になります。

3.コンポーネント(HD1 480p)信号のときは「4:3」「MOVIE1」「FULL」の切り換えになります。

4.コンポーネント(HD2:720p, HD3:1035i,1080i)信号のときは「FULL」表示のみとなり、表示サイズの切り換えはできません。

(※3) コンポーネント(HD2:720p, HD3:1035i,1080i)信号のときはV.POS, V.SIZE調節はできません。



# 操作方法 (つづき)

## DISPLAY AREA選択時の表示概略図 (RGB入力)

解像度	全体表示	その他 (部分表示)
640×480 (VGA)	FULL 	NORMAL 
800×600 (SVGA)	FULL 	CENTER UP/LFおよびUP/RI DW/LFおよびDW/RI 
1024×768 (XGA)	FULL 	CENTER UP/LFおよびUP/RI DW/LFおよびDW/RI 
1280×1024 (SXGA)*	FULL 	CENTER UP/LF UP/RI DW/LF DW/RI 

\*SXGA(1280×1024)-75HzはFULL表示のみ。  
全体表示 (FULL) は、表示領域一杯に情報表示を行うため、圧縮 (間引き) ・拡大などの処理を行っています。

# 操作方法 (つづき)

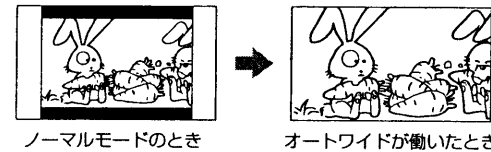
## DISPALY SIZE選択時の表示概略図 (VIDEO入力)

こんなときは	表示サイズの設定	入力信号 (4:3信号)	表示画面	備考
16:9の画面に4:3映像を忠実に出す。	4:3			両サイドにブランクが生じます。
16:9の画面に4:3映像を、画面中央の縦横を等比率で拡大、両サイドはより拡大して出す。	スムーズ SMOOTH			
4:3映像の中の16:9のピクセルサイズの映像を16:9画面で忠実に再生。	映画1 MOVIE1			・このときの4:3映像をレターボックス映像と言います。 ・上下にブランクが多少残る場合があります。
4:3映像の中に21:9のシネマサイズの映像を16:9画面に垂直拡大して再生。	映画2 MOVIE2			上下にブランクが多少残る場合があります。
4:3映像に垂直サイズは標準で横圧縮(スクイーズ)*された映像を16:9画面で忠実に再生。	フル FULL			*アスペクト比(画面横:縦の比)16:9の画面を横方向に圧縮して4:3の画面に収めた映像信号です。

## オートワイドの効果

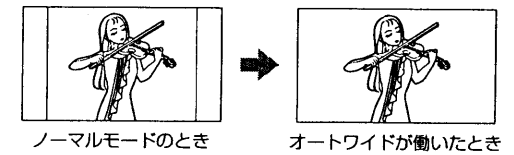
見ている映像が上下に黒い帯の入った横長サイズの映像のとき

横長サイズの映像を画面のサイズ、画面の中心位置を最適にして上下の黒帯を最小になるように表示します。また、字幕などの文字を最適に再生できます。



見ている映像が通常の映像のとき

通常4:3の映像を横方向に不自然にならないように拡大し、垂直方向にも10%拡大してワイド画面一杯に違和感なく表示します。



■「FUNCTION」の「AUTO WIDE SEL」が「SMOOTH」に設定されている場合は、画面一杯にスムーズサイズで表示します。「AUTO WIDE SEL」が「4:3」の設定になっている場合は、通常の映像のときは4:3サイズで表示します。

## オートワイドについて

- 映像のサイズによっては上下に黒い帯が残る場合があります。
- 暗い映像の画面などでは、最適なワイド画面にならない場合があります。このような場合は、「オート」モード以外のお好みの画面サイズに設定してください。
- 最適なオートワイド画面になるまで、映像の内容によって多少時間がかかる場合があります。
- ビデオ2、ビデオ3入力のコンポーネント入力端子に525p (480p)、750p (720p) または1125i (1080i) 信号を入力したときは、オートワイド機能を選択することができません。ビデオ2入力の場合は、「AUTO」以外のサイズに設定してください。ビデオ3入力の場合は、制御信号を検出して、自動的に画面サイズが切り換わります。
- ビデオ1 S2映像入力端子に制御信号の入った信号を入力したときは、自動的にワイド画面になります。

## お知らせ

- このハイビジョンモニターは、各種の画面サイズ切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- このハイビジョンモニターを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されたと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来 (通常) の4:3の映像をオートまたはスムーズモードを利用して、ハイビジョンモニターの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、通常の4:3映像でご覧になれます。
- 本機はワイドクリアビジョン放送の識別信号に対し、自動判別に対応はしておりません。通常の4:3映像として「オート」モード以外のお好みの画面サイズに設定してご使用ください。

## その他の機能

### リセット (登録内容の初期化)

- RGB入力またはビデオ入力時、オン スクリーン ディスプレイ システムEasyMenu [20] より、SELECTボタンで「DISPLAY」を選択し、更に「DISPLAY INIT.」を選択すると、右図のEasyMenuが表示されます。このときにSELECTボタンの◀キーを押す(YESを選択)と、現在受信している信号の下記表のユーザー調節値を消去して、工場出荷時の標準設定に戻すことができます。

INITIALIZE?  
YES ◀▶ NO

- [▶] キーを押す (NOを選択) と、消去しないでDISPLAYメニューに戻ります。

DISPLAYメニュー項目	表示	対象
水平位置	H.POSITION	RGB
垂直位置	V.POSITION	RGB, VIDEO1, VIDEO2, VIDEO3
ドットクロック周波数	CLOCK	RGB
ドットクロック位相	PHASE	RGB
走査方式	SCAN	RGB
垂直サイズ	V.SIZE	VIDEO1, VIDEO2, VIDEO3
表示領域	DISPLAY AREA	RGB
表示サイズ	DISPLAY SIZE	VIDEO1, VIDEO2, VIDEO3

### 信号チェック

- 信号受信状態が自動的に点検され、結果が画面表示されます。

状態	表示	対処
正常受信時	・入力端子と水平と垂直の周波数をガイド表示します。	—
同期信号が検出できなかったとき	・「POWER SAVE」とガイドを表示します(約5秒間)。 ・同期信号が検出できない状態が継続すると電源の表示ランプが点滅し、パワーセーブ・モードに移行します。	・コンピューターの電源スイッチやコンピューターの接続状態をもう一度確認してください。
入力信号がディスプレイの仕様に合わないか、不安定な状態であるとき	・「OUT OF FREQUENCY」とガイド表示します(約5秒間)。	・入力信号の仕様をもう一度確認してください。 [33], [34]
入力信号が圧縮表示される時(縮小表示)	・「DOT COMPRESSION」の文字とともに、入力端子と水平、垂直の周波数をガイド表示します。	—

RGB [D-SUB]  
H : 46.5kHz, V : 60Hz

VIDEO入力時の表示はVIDEOまたはS VIDEOとなります。

POWER SAVE

OUT OF FREQUENCY

DOT COMPRESSION  
RGB [D-SUB]  
H : 63.7kHz, V : 60Hz

## その他の機能 (つづき)

### パワーセービングシステム

#### ■RGB入力端子選択時

- 本機をVESA DPMS対応のコンピューターに接続して使用すると、コンピューター未使用時にはパワーセーブ(スタンバイ/サスペンド/オフ)モードが自動的に設定されて、本機の消費電力を節減することができます。

RGB同期信号	水平	有	無	有	無
	垂直	有	有	無	無
映像信号	アクティブ (通常表示)		ブランク (映像無し)		
動作モード	オン	スタンバイ	サスペンド	オフ <sup>1)</sup>	
表示ランプ	緑色点灯		緑色点滅		
消費電力	450W(標準)		5W以下		

1) MENUボタンまたはSELECTボタンを押すと音声専用モードに移ります。[27]

#### ■ビデオ入力端子選択時

- ビデオ入力信号が無いときは、パワーセービングシステムが働き、本機の消費電力を節減することができます。

ビデオ信号	有	無
動作モード	オン	オフ <sup>1)</sup>
画面の表示	通常表示	ブランク (映像無し)
表示ランプ	緑色点灯	緑色点滅
消費電力	450W(標準)	5W以下

1) MENUボタンまたはSELECTボタンを押すと音声専用モードに移ります。[27]

### 音声専用モード

- パワーセービングシステム [27] のオフモード時にMENUボタンを押すと、オフモードを解除して音声を出力することができます。

- 音声専用モードに移行すると画面に表示します。
- 音声専用モードでは、音量調節をすることができます。



SOUND MODE

- MENUボタンを押すと音声専用モードを解除します。

- このモードを解除すると、パワーセービングシステム [27] が働きます。
- 入力信号が有る場合には、自動的に音声専用モードを解除して、入力された信号を表示します。



POWER SAVE

# その他の機能 (つづき)

## 自動ストア

●調節した状態は調節終了後、約1秒で下表に従って自動的に登録されます。

項目	表示	登録条件	再現条件
音量 音声バランス 高音 低音 ミュート音量 入力状態自動表示 拡大処理 ライン補間 3次元Y/C分離 HD信号 4:3表示選択	VOLUME BALANCE TREBLE BASS MUTE LEVEL AUTO FREQ. INTERPOLATION LINE INTP. 3D COMB COMPONENT AUTO WIDE SEL	1組登録できます。	正常信号受信時
ブライトネス(明るさ) コントラスト(明暗の差) 色温度 ガンマ補正 入力信号レベル	BRIGHTNES CONTRAST COLOR SELECT GAMMA VIDEO LEVEL	RGB入力時共通で1組と VIDEO1、VIDEO2、VIDEO3 入力時共通で1組の2組登録でき ます。 ※ガンマ補正はRGB入力時のみ	正常信号受信時
カラー (色の濃さ) ティント (色あい) シャープネス (画質)	COLOR TINT SHARPNESS	VIDEO1、VIDEO2、VIDEO3 入力時共通で1組登録できます。	正常信号受信時
表示領域 表示サイズ 水平位置 垂直位置 ドットクロック周波数 ドットクロック位相 垂直サイズ	DISPLAY AREA DISPLAY SIZE H.POSITION V.POSITION CLOCK PHASE V.SIZE	信号モード毎に1組登録できま す。	登録時と同じ信号モードを検出時

- 登録前の内容は失われます。
- 信号モードは、水平/垂直同期周波数と同期信号極性によって判別されます。これらの全ての要素が同じか類似している場合は、異なる信号が同一の信号として扱われることがあります。
- VIDEO1、VIDEO2およびVIDEO3は、信号モード毎に登録できる内容を共用しています。そのため、VIDEO1 (またはVIDEO2、VIDEO3) で登録した内容で同じ信号モードをVIDEO2 (またはVIDEO1、VIDEO3) で受信した場合は、調節内容がずれることがあります。

# 故障かな…と思ったら


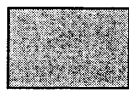

## 故障とまちがえやすい現象

●症状に応じて以下の確認を行ってください。症状が改善されない場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。



**警告**

■ お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

症状	確認内容	参考頁
●画面表示があらわれず、電源スイッチの表示ランプが消えている場合。 	→電源コードの接続状態を確認してください。 →電源スイッチを押してみてください。	14 15 17
●「POWER SAVE」のメッセージが表示された場合。  ●画面表示があらわれず、電源スイッチの緑色の表示ランプが点滅している場合。 	同期信号が検出できません。 →信号ケーブルの接続状態を確認してください。 →コンピューター、映像機器などのスイッチがONになっていることを確認してください。 →コンピューターがパワーセーブモードになっていないか確認してください。 →入力切替が接続端子と一致していることを確認してください。	14 15 17 26 27
●「OUT OF FREQUENCY」のメッセージが表示された場合。  ●「DOT COMPRESSION」のメッセージが表示された場合。 	入力信号が正常受信できません。 →入力信号が本機の仕様に合っていることを確認してください。 →信号ケーブルの接続状態を確認してください。 →1024×512 (フィールド) を越える信号を入力した場合、簡易表示になっていることを示すものです。設定を変更する場合は 22 に従ってください。	14 15 22 26
●電源スイッチの表示ランプが正常に点灯しているのに、画面表示があらわれない場合。 	→コントラスト、ブライトネスの調節状態を確認してください。(＋調節してみる) →信号ケーブルの接続状態を確認してください。	14 15 19 21
●画面がななめに流れる場合。  ●画面全体に文字列を表示すると、縦縮がはじり、画面縦列の文字がにじんで表示される場合。 	→ドットクロック周波数とドットクロック位相を調節してください。(ドットクロック周波数を調節後、ドットクロック位相を調節してください。)	22 31
●画面全体に文字列を表示すると、画面全体の文字がにじんで表示される場合。  ●細かい模様を表示させたときに画面がちらつく場合。 	→ドットクロック位相を調節して、最もくっきり見えるようにしてください。	22 32
●リモコンで操作できない場合。	→リモコンの乾電池の逆が入っていないか確認してください。 →リモコンの乾電池の寿命がなくなっていないか確認してください。	16

## 故障かな…と思ったら (つづき)

症状	確認内容	参考頁
●フリッカにより横線が上下に振動している。 (コンピューター信号入力時)	→コンピューターの垂直周波数が75Hz未満の場合は、周波数を高くしてみてください(上限75Hz)。現象が軽減される場合があります。	—
●表示パネルの表面温度が高い。	→プラズマディスプレイパネルは、内部で放電を起こすことにより、蛍光体を発光させています。そのため、パネル表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	—
●画面上に周囲と異なる点(※)がある。 ※：光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など。	→プラズマディスプレイパネルは、精密度の高い技術で作られています。画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	—
●画面の内容により、縦状のノイズが出る。	→プラズマディスプレイパネルは、放電によって蛍光体を発光させるため、画面の内容によっては、誤点灯のためまれに縦状のノイズが出る場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	—
●FULL表示画面で粗い横筋が見える。 (コンピューター信号入力時)	→目の錯覚により見える場合があります。PHASE調節により横筋を軽減することができます。	—

## 故障かな…と思ったら (つづき)

### 正常に表示しない場合の対処方法

- 使用するシステム装置によって、表示画面が適正でない場合があります。このような時は必ず以下の調節を行ってください。

症状1	画面全体に文字を表示すると縦縞がはいり、一部の文字がにじんで表示される(画面1)
例	<p>調節前 一部文字がにじむ</p> <p>調節後1 全文字がはっきり見える</p> <p>調節後2 全文字がにじんで見える 32の調節を行ってください。</p>
調節方法	<p>① MENUボタンを押してください。調節用メニュー画面が表示されます。</p> <p>② SELECTボタンの▽キーを数回押して、DISPLAYを選択します。</p> <p>③ ▷キーを押してください。DISPLAYメニューが表示されます。</p> <p>④ ▽キーを数回押して、CLOCKを選択します。 (CLOCKの調節は、文字などの細かいパターンか、縦縞パターンを画面全体に表示して行ってください。)</p> <p>⑤ ▷または◀キーを押して、文字が画面全体で均等に見えるところを探してください。</p> <p>⑥ 画面全体で文字がにじんで見える場合は、症状2 32の調節を行ってください。</p>

■ CLOCK調節中に画面が一瞬乱れることがありますが故障ではありません。



# 故障かな…と思ったら (つづき)

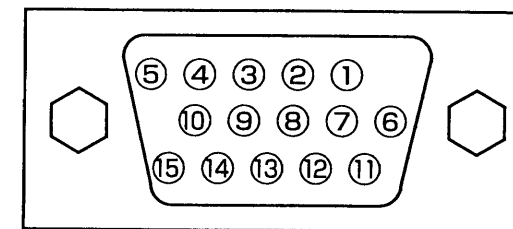
症状2	画面全体に文字を表示すると画面全部の文字がにじんで表示される (画面2) 細かい模様を表示させた時に画面がちらちらする (画面3)	
例	<p>画面2</p>	<p>画面3</p>
調節方法	<p>① MENUボタンを押してください。調節用メニュー画面が表示されます。                  ② SELECTボタンの▽キーを数回押して、DISPLAYを選択します。                  ③ ▷キーを押してください。DISPLAYメニューが表示されます。                  ④ ▽キーを数回押して、PHASEを選択します。                  (PHASEの調節は、全画面に連続して文字などの細かいパターンか、縦縞パターンを画面全体に表示して行ってください。)</p>	
	⑤ ▷または<キーを押して、文字が画面全体できれいのところを探してください。	⑥ ▷または<キーを押して、画面がちらつかないところを探してください。

# パソコン入力信号仕様

## 信号入力

●RGB端子 (D-SUB15ピンコネクター)

ピンNo.	入力信号
1	Rビデオ
2	GビデオまたはGビデオ重畳同期
3	Bビデオ
4	(接続無し)
5	(接続無し)
6	Rグラウンド
7	Gグラウンド
8	Bグラウンド
9	(接続無し)
10	グラウンド
11	(接続無し)
12	(接続無し)
13	水平同期または水平/垂直複合同期
14	垂直同期
15	(接続無し)



●グラフィックボードなどによって複数種の同期信号が入力された場合、本機では下表の優先順位で信号を自動選択します。

同期信号の種類	優先順位
H/Vセパレート同期	1
H/V複合同期	2
Gビデオ重畳同期	3

■本機とパソコンとの接続は、別売りの信号ケーブル (TP-RGBVG) をご使用されることを推奨します。

# パソコン入力信号仕様 (つづき)

## 推奨信号一覧

●本機では、以下を推奨します。(RGB入力時)。

No.	信号モード			水平周波数 (kHz)	ドットクロック周波数 (MHz)	備考
	信号名	解像度	垂直周波数 (Hz)			
1	VGA	640×400	70.08	31.47	25.18	
2		640×480	59.94	31.47	25.18	
3	VESA	640×480	72.81	37.86	31.50	
4		640×480	75.00	37.50	31.50	
5		800×600	56.25	35.16	36.00	
6		800×600	60.32	37.88	40.00	
7		800×600	72.19	48.08	50.00	
8		800×600	75.00	46.88	49.50	
9		1024×768	60.00	48.36	65.00	
10		1024×768	70.07	56.48	75.00	
11		1024×768	75.03	60.02	78.75	
12		1280×1024	60.02	63.98	108.00	
13	1280×1024	75.03	79.98	135.00	FULL表示のみ	
14	W-PCボード	1024×512	42.03	75.06	56.49	※

- ※ (株) アイ・オー・データ機器社製のワイド画面対応グラフィックアクセラータを使用した場合のみ実現されます。この製品についてのお問い合わせは、本取扱説明書記載の弊社におたずねください。
- 使用するビデオボードや接続ケーブルにより、正しく表示できないことがあります。この際には必ずH.POSITION, V.POSITION, CLOCK, PHASEを調節してください。
  - 垂直周波数60Hz以上の信号を入力したとき、動画像が正しく表示できないことがあります。
  - 本機では、水平周波数、垂直周波数、水平同期信号極性、および垂直同期信号極性によって信号モードを区別します。これら全ての要素が同じかきわめて似ている場合には、異なる信号であっても同一の信号として扱われる場合がありますのでご注意ください。
  - 垂直解像度512ラインを超える画像をFULL表示(縮小表示)すると、横線が間引かれることがあります。特に解像度1280×1024等のFULL表示では、画像パターンによっては完全な黒又は白画面になる場合がありますのでご注意ください。
  - 本機は、下表に示す入力信号タイミングでご使用になることをおすすめします。フロントポーチやバックポーチが極端に長かったり、データ表示時間が極端に短かったりすると、登録された設定状態が正しく再現されない場合があります。

		フロントポーチ	同期幅	バックポーチ	ブランキング幅
水平タイミング	水平周波数 24kHz-52kHz	0.1μs以上	1.0-3.8μs	1.2μs以上	3.5μs以上
	水平周波数 52kHz-80kHz	0.1μs以上	0.8-3.0μs	1.1μs以上	2.3μs以上
垂直タイミング		9μs以上	100μs以上	400μs以上	450μs以上

# 保証とアフターサービス

## 修理を依頼される時は(出張修理)

29~32ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 補修用性能部品の最低保有期間

プラズマハイビジョンモニターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。  
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。  
保証期間…お買い上げ日から1年です。

### ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別添)にお問い合わせください。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

品名	プラズマハイビジョンモニター
形名	(モニター本体) W42M-PD1 (リモコン) CP-RD1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

### 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ( )	年 月 日

## 長年ご使用のモニターの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

### 愛情点検



### このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なおいかしがたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

### ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。